

プラン名： 中田島砂丘で親ガメ産卵調査	
遂行人数 最少 1人 ～ 最大 200人	小学生 ^{4年生以上} / 中学生 / 高校生 / 企業・一般団体 / 海外インバウンド ^{通訳があれば}
【問合せ先】 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー	
【事業者名】 特定非営利活動法人サンクチュアリ N.P.O	
URL： https://www.sanctuarynpo.jp/	
事業概要： 1985 年から遠州灘海岸を中心とした環境保全を目的に市民参加型のボランティア活動を行っています。	

開催場所(集合場所)	サンクチュアリネイチャーセンター 所在地：浜松市中央区中田島町
バス駐車場	風車公園 南駐車場
体験概要	遠州灘海岸には、5 月から 8 月にかけてアカウミガメが産卵にきます。ウミガメ保護調査員が毎日早朝に産卵状況の調査を行い、産卵が確認された卵は保護されます。保護柵内でふ化した子ガメは、例年 8 月中旬以降から 10 月上旬にかけてふ化の時期を迎えます。 本フィールドワークでは、浜松市から掛川市までの海岸を対象に、アカウミガメの上陸・産卵から保護、そしてふ化した子ガメの放流まで、野生生物保護の現場を体感できます。生態解説に加え、海洋ゴミや光害、気候変動など現代の環境課題について理解を深め、自然保護の重要性を体験的に学べます。学校団体の希望に応じて、平日開催や時間調整が可能で、学年や学習目的に合わせた説明内容のカスタマイズにも対応しています。
学習内容	親ガメの産卵調査では、アカウミガメが砂浜に上陸して産卵したあと、砂に残る足跡や産卵の痕跡を観察します。また、調査員と一緒に産卵巣から卵の掘り出し作業を行うことで、ウミガメの行動のひみつや、身近な自然の中で生き物の生態を学ぶことができます。 また、人工の光や海岸の変化が産卵にどんな影響を与えるのかなど、ウミガメを取り巻く環境問題についてもやさしく理解できます。自然を守るために大切なことを、現場で感じながら学べるプログラムです。
実施期間	親ガメ産卵調査 6 月下旬～8 月上旬 AM6 時頃
営業時間	
所要時間	スライド説明 30 分→当日の産卵場所へ移動→卵の保護 60 分→環境学習 30 分 所要時間 120 分
持ち物等	けが防止のため、運動靴をおすすめします。
申込期限	
追加プログラム	環境学習(ビーチクリーン、マイクロプラスチック、砂丘回復プロジェクト等) ボランティア証明書の発行(有料)